

製品名: COX4I1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80887**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間、マウス、ラット、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 19kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 遺伝子名 | COX4I1 |
| 別名 | COX4; COXIV; COX4-1; MGC72016; COX4I1 |
| 遺伝子 ID | 1327.0 |
| SwissProt ID | P13073 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト COX4I1 の精製された組み換え断片。 |

背景

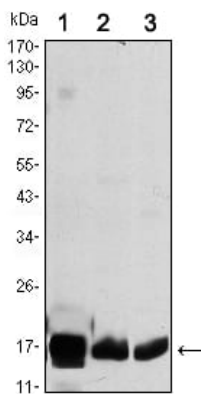
シトクロム c 酸化酵素 (COX) は、呼吸鎖の末端酸化酵素として機能し、シトクロム c を電子供与体として利用し、ミトコンドリア内膜を横切るプロトン勾配を駆動します。哺乳類の COX アポ酵素は、ミトコンドリアにコードされた 3 つの触媒サブユニットと、核

遺伝子にコードされた複数の構造サブユニットからなるヘテロ多量体です。COXは、2つの鉄配位部位と2つの銅配位部位を有しています。シトクロムc酸化酵素IV (COX4)は、COXの核にコードされたサブユニットであり、COXの活性を制御する役割を果たしていると考えられます。COX4は成人の組織に広く発現しており、膵臓で最も強く発現し、心臓、骨格筋、胎盤では中程度の発現レベルを示します。

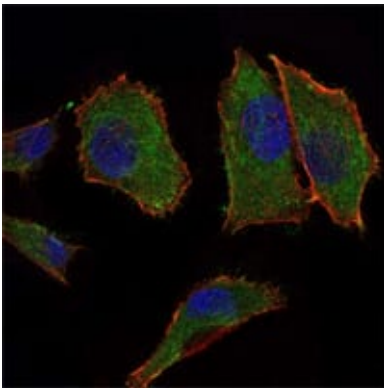
研究分野

-

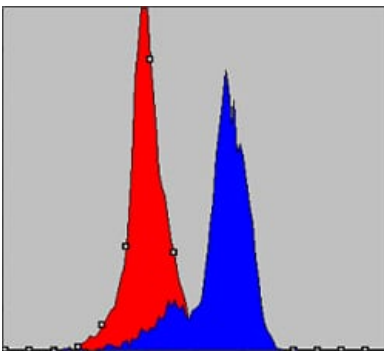
画像データ



HEK293 (1)、A549 (2)、PC12 (3) 細胞溶解物に対するCOX411 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



COX411 マウス mAb (緑) を用いた PANC-1 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



COX411 マウス mAb (青) とネガティブコントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。